

---

# 汚れたプラスチックについて

## Q&A

---

### Q なぜ汚れたプラスチックの回収方法を不燃ごみから可燃ごみに変更したのですか？

---

A 今まで汚れたプラスチックは不燃ごみとして月2回収集してきました。

月2回収集の不燃ごみから週2回収集の可燃ごみへ変更することにより、汚れたプラスチックを家庭で保管する期間が短縮され、害虫や臭いの発生を抑えることができ、市民生活の利便性が向上します。さらに、汚れたプラスチックの収集回数が増えることにより、プラスチックの収集時に汚れたプラスチックが混入するケースが減り、リサイクルされるプラスチックの品質が向上することが見込まれます。

また、今までは不燃ごみとして収集された汚れたプラスチックは、「ふじみ衛生組合リサイクルセンター（中間処理施設）」で人の手で選別して取り除いていました。そのため、手選別の手間がかかると同時に、汚れたプラスチックが混ざってしまうため、害虫が発生するなど衛生面等の観点からごみ処理に支障が生じていました。汚れたプラスチックを可燃ごみで収集することにより、中間処理施設の手選別作業が効率化されます。

以上の理由から汚れたプラスチックの回収方法を不燃ごみから可燃ごみに変更しました。

### Q 汚れのないプラスチックは、いつ出せばいいのですか？

---

A 今まで通り、「プラスチック類」の収集日（週1回収集、無料）に、透明か半透明の袋（レジ袋でも可）に入れて出してください。質の良いリサイクルを実施して、より一層の資源化を推進していきます。

### Q 汚れたプラスチックは、いつ出せばいいのですか？

---

A 平成29年4月から、可燃ごみ（週2回収集、有料）の収集日に、指定収集袋に入れてお出しください。

### Q 汚れたプラスチックと他の可燃ごみ（生ごみなど）は別々の指定収集袋に入れてだすのですか？

---

A 可燃ごみ（生ごみなど）と一緒に指定収集袋に入れて出してください。

## Q 汚れたプラスチックとはどんなものですか？

---

A 水で流したり、ふいたりしても油や食べ残しの食品や泥などの汚れがとれないプラスチックのことです。例えば、マヨネーズやからし等の調味料がきれいに取り出せないチューブ状の容器、油やソースなどがついた弁当容器、納豆やレトルト食品のパック、泥のついた植木鉢（プランター）、汚れたプラスチック製のバケツなどです。

## Q 消費（味）期限切れで、中身の入った容器はどのように出すのですか？

---

A 中身入りのお菓子袋（ポテトチップ等）、レトルトパック、マヨネーズ等のチューブ容器等は、収集時に中身が飛散する恐れがありますので、液状の中身は、ぼろ布等に染み込ませて可燃ごみへ、容器も同じ可燃ごみへお出してください。

## Q 市民へはどのように広報・周知しているのですか？

---

A 広報みたか、ホームページ、ごみ分別アプリ、リサイクルカレンダー及び各種イベント等を通じて、市民の方々へ案内をしています。

## Q 汚れたプラスチックを可燃ごみで出すことによって市民の負担はふえないですか？

---

A 汚れたプラスチックの分別を、不燃ごみから可燃ごみに変更しても、どちらも有料ごみであることから、市民の方々への経済的負担は生じません。

不燃ごみは月2回の収集ですが、可燃ごみは週2回の収集ですので、汚れたプラスチックを家庭で保管する期間が短縮され、害虫や臭いの発生を抑えることができます。

## Q 汚れたプラスチックを燃やしても安全性に問題はないのですか？

---

A 焼却処理施設（クリーンプラザふじみ）から次のような回答を得ていますので、安全性については問題はないと考えています。

「現在（平成25年度の開設以降）、「汚れたプラスチック」については、ふじみ衛生組合リサイクルセンター（中間処理施設）で選別後、クリーンプラザふじみにおいて全量熱回収処理しています。排出ガス等の環境面において、安全かつ確実に処理できており、受入容量及び処理能力においても問題なく処理が可能です。」